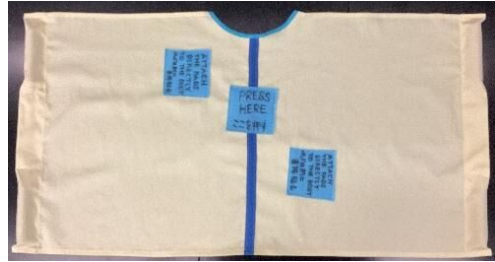


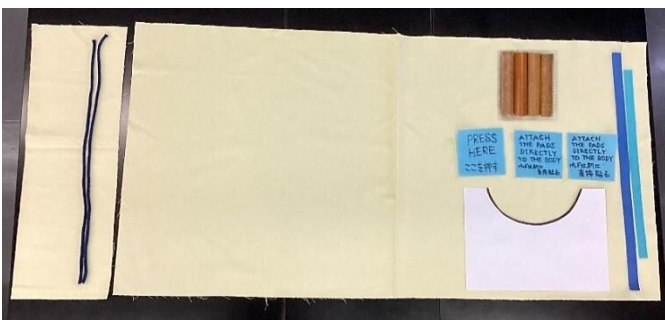
AED シートの製作手順

令和 8 年 5 月 1 日改訂

家庭クラブ 同好会
基町高校 PUSH プロジェクト



【準備物】



【AED シート収納袋】（画像の左側）

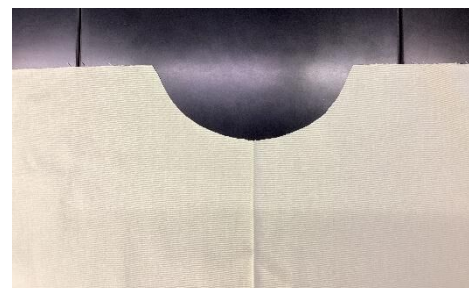
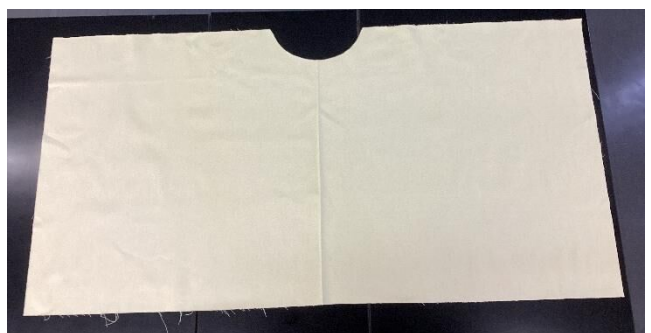
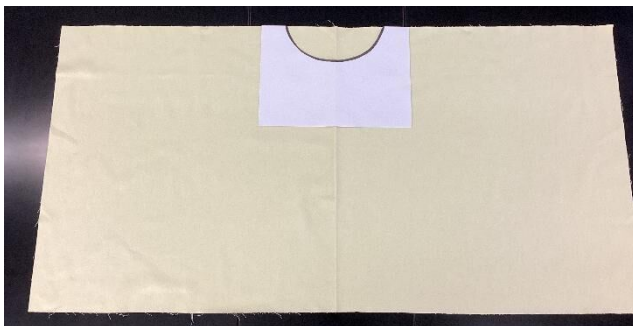
- ・布 縦 55 cm × 横約 18 cm（55 cm を 3 等分 に する と 簡 単）
- ・紐 30cm 2 本

【AED シート本体】（画像の右側）

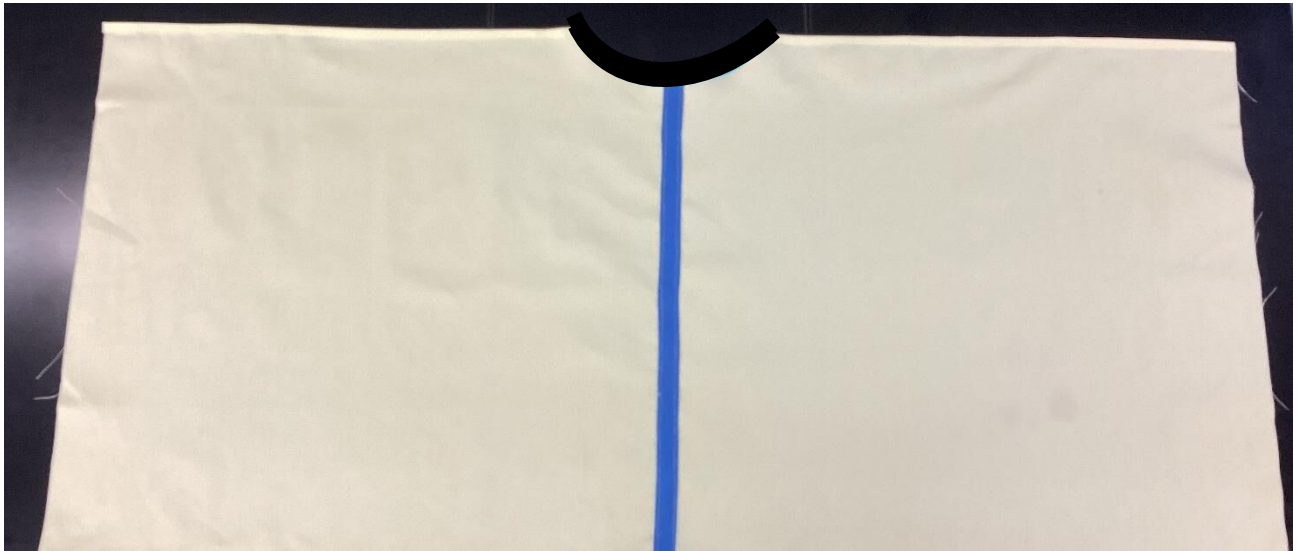
- ・布 縦 55 cm × 横 110 cm（110 cm 幅 の 布 だ と 裁 断 が 簡 単）
- ・首まわりの型紙（別紙参照）
- ・バイヤステープ 30 cm（首まわり）
- ・綾テープ 50 cm（体の中心）※リボン等で代用可能
- ・木棒 直径約 2 cm 長さ約 10cm 4 本（重り）
※1 本あたり 20~30g だと、シートが風で飛ばず、重すぎず、ちょうどいいです。学校にあるような古くなった箸の柄なども活用できます。カット面は、やすりをかけるなど安全対策を！
- ・フェルト 10cm × 10cm 3 枚
※記入する文字は製作手順の最後に掲載しています。

【AED シート本体の作り方】

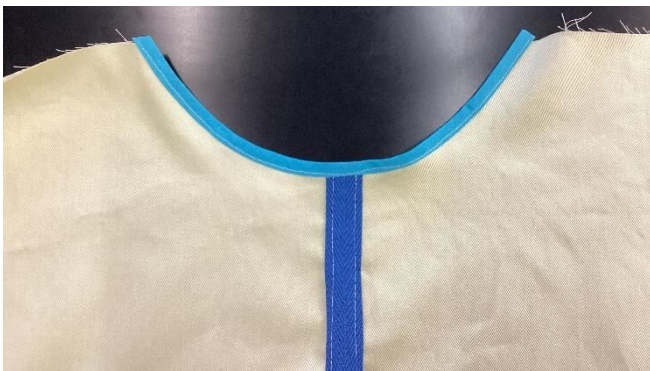
1. 本体用布に首まわりの型紙を置き、切り取る。



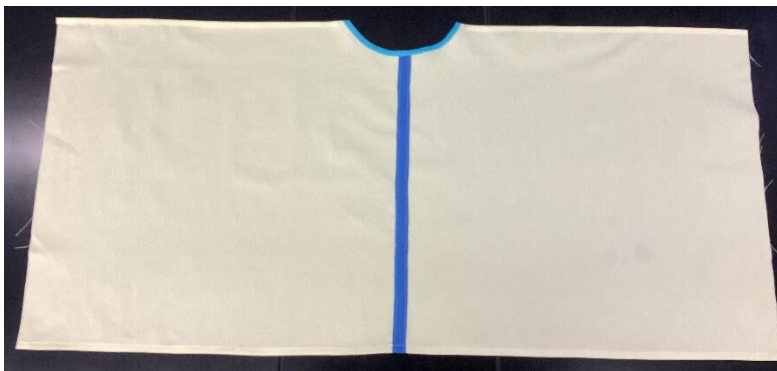
2. 布表の中央に綾テープを縫い付ける。



3. バイヤステープで首まわりの縫いしろと綾テープの端もくるみながらミシンで縫う。



4. 両肩と裾を1 cm ずつの三つ折りにし、0.2 cmのところに端ミシンをかける。



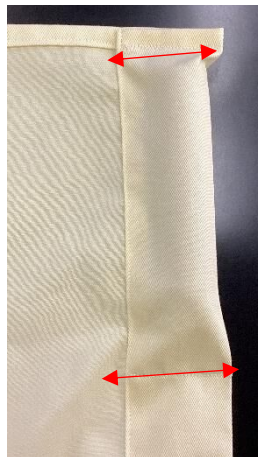
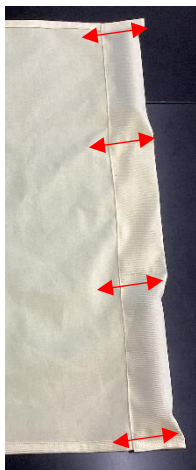
5. 脇は、端からまず1 cm 折り、次に5 cm 折って三つ折りにし、0.2 cmのところに端ミシンをかける。両脇同じように縫う。ここには木棒（重り）を入れるので、狭くならないように気をつける。

【肩側】

【裾側】



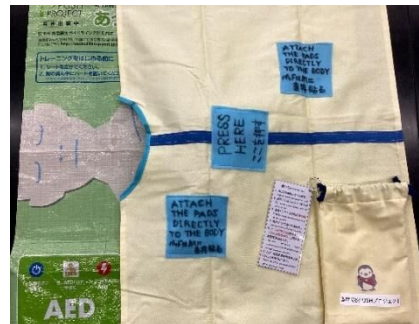
6. 木棒（重り）を5. の両脇にそれぞれ2本ずつ入れる。上下の入り口をふさぐようにミシン縫いをする。次に木棒が上下の端におさまるように、それぞれ端から15 cmのところにミシン縫いをする。



7. 布表の中央、左上、右下に説明書きをしたフェルトを縫い付けて、完成。

実際に自分自身や、AED 体験用人形などにあててみて、適切な位置にくるようにする。

また、胸骨圧迫をする向きに文字の向きをあわせるなど、工夫するとよい。



あっぱくんライト® (株式会社アレクソン)

【フェルトに書く文字】

フェルト 3枚で AED シート 1枚分です。
外側をミシンで縫い付けるので、
文字は少し内側に書いてください。

PRESS
HERE

ここを押す

ATTACH
THE PADS
DIRECTLY
TO THE BODY

パッドは肌に直接貼る

ATTACH
THE PADS
DIRECTLY
TO THE BODY

パッドは肌に直接貼る

【AED シート収納袋】

AED シートを折って丸めて収納する巾着袋を作る。
使用していない袋などを使ってもよいが、大きいと
AED 収納ボックスに入らないこともあるので、施設
にある AED の実態に合わせて作るとよい。

巾着袋に、アイロン接着タイプのシートやラベル
シールを貼り付ける。本校の場合は、「へるペン
ちゃん」と「校名」を貼り付けている。さらに
使用説明書をラミネートしたものを取り付けてい
る。



製作手順作成：広島市立基町高等学校

AED シート立案：和歌山県立熊野高等学校